

しんまちだよりネットワーク版

ちょっとした準備が将来の安心につながります

配偶者・子供や親類がいても、いざというときに頼ることができない「頼れる身寄りのいない高齢者」が増えており、まさに現代の重要な地域課題です。単に個人の将来の不安だけでなく、地域社会や行政、医療・介護現場にも大きな影響を及ぼしています。「まだ元気」と思っているにもかかわらず、いつ何が起きるかわかりません。

☆知っておきたい現実

高齢になり身寄りがないと何が困るのか。

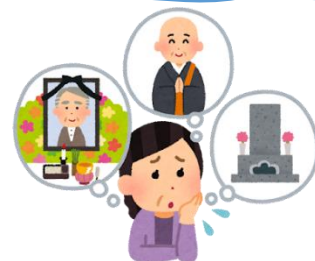
病院の入院や介護施設の入所時には、ほとんどの場合「身元保証人」や「緊急連絡先」を求められます。何の準備もしないまま倒れてしまうと、希望する医療や介護を受けられなかったり、預金の引き出し、支払いができないなど困ったことが起きる可能性があります。

施設に入居したいが
「身元保証人」がいない



突然倒れた時、医療の同意
をしてくれる家族がいない

葬儀や死後の手続きや片づけをどうしたらいいのか

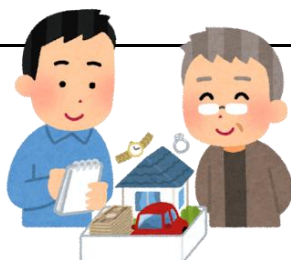


☆「元気なうち」だからこそ、今からできる3つの安心準備

対策を始めるのに「早すぎる」ことはありません。

人に迷惑をかけることなく、自分の希望通りに人生を締めくくるための準備・対策です。

地域・人とつながる	ボランティア活動や趣味のサークルなど、日常的に声を掛け合える関係をつくっておく
エンディングノートの作成	情報と意思の整理、自分の希望（医療・介護・葬儀・資産など）を書き留める。身寄りのいる方も遺された親族のために書いておきましょう。
専門の制度や支援の活用	任意後見制度、身元保証サービス、死後事務委任契約などの制度の利用は専門家への相談が必要です。まずは地域包括支援センターや社会福祉協議会の権利擁護センターへご相談ください。



地域包括支援センターしんまち Tel.042-340-5060 FAX042-340-5622
e-mail : sinmachi-kg@t-kenseikai.jp ネットワーク担当 野中



オレンジサロンのご案内

認知症の家族を介護されている方や、認知症に関心のある方たちの
交流の場として、隔月でオレンジサロンを開催しています。

日 時 9月19日(土) 14:00

(15時から16時まで懇談会開催・自由参加です)

場 所 新町文化センター会議室

テーマ 「認知症の方の言葉や行動に
込められた思いを考える」

講 師 認知症介護指導者 不動田 敏幸氏

申込先 府中市地域包括支援センターしんまち TEL 042-340-5060

次の開催は11月28日(土)です。お気軽にご参加ください。

三光幼稚園の「三光祭」に参加しました！



8月29日に新町の三光幼稚園で開催された園のお祭り「三光祭」に手芸クラブが参加しました。

当日は、手芸クラブが手作りのフェルトのマスコットを準備、来園した子供たち約190名に好きなマスコットを選んでもらいプレゼントをしました。

子供たち、パパママ、幼稚園のスタッフの方々などお祭りに参加された皆さんと交流し楽しいひと時になりました。三光幼稚園さんとはこれまで園で使用する玩具や備品を手作りで寄付する活動をしてきました。

こうした活動は多世代交流、保育現場のメリット、高齢者の得意を活かした地域貢献などそれぞれメリットになることがたくさんあります。

地域包括支援センターでは各種ボランティアを
募集しています。

ボランティア



募集中

- ・ニット小物の作成(高齢者施設などへの寄付)
- ・保育園で使用する手作り玩具などの作成
- ・高齢者の話し相手など
- ・介護予防の体操教室などのお手伝い

その他、自分の得意を地域に活かしたいという方！
是非、地域包括支援センターしんまちまでご一報ください。